

おやごころ

<https://www.yamaguchipta.jp/>



山口県PTA連合会

発行年月日:令和8年2月22日

発行:山口県PTA連合会広報委員会

令和7年12月13日(土) 12:30~光市民ホール大ホールを会場に

山口県PTA研修大会光大会を開催

ご来場・オンラインでのご視聴ありがとうございました!

上手くはないけど愛する我が子と一緒に“一生懸命”踊ったお父さんたち。オープニングアトラクションは手話を取り入れたダンスパフォーマンスで始まり、会場が感動の涙で溢れました。

開会式では三行詩コンクールの表彰も行われ小学生の部、中学生の部、一般の部からそれぞれ会長賞を受賞された3名が山口県PTA連合会(以下県P連)の溝口会長から表彰を受けました。



また、長年にわたりPTA活動に従事してこられた方へ山口県教育委員会の繁吉教育長より感謝状が贈られました。県P連前会長の松田さんが代表しておこなった挨拶では「PTA活動をする中で、私たちの生き方や背中を見た子どもたちが将来を担っていく。そのために必要なのは保護者や先生方、地域との協力関係など、みんなで背中、生き方を見せることが大事だ」と述べられました。



辻井いつ子様(右の写真中央)のご講演【明るく楽しくあきらめない】で辻井様が子育てに向き合ってきたご経験や、日々の生活の中で大切にされてきた考え方、子どもの可能性を信じあきらめない姿勢についてお話しをされ、会場の皆さんも熱心にお話を聞き、うなずく姿もみられました。



実践発表では、コント風に始まりつつもコミスクとしての歴史や、学校運営協議会を改善していく仕組みを説明、子どもたちの夢をカタチにした着ぐるみの登場、企業と連携した特産品の開発から販売までの紹介や自慢の取組み、PTA活動を持続するための業務の改善を提案するなど、大会テーマである「子どもにまっすぐ“一生懸命”~持続可能な光式親バカなまちをめざして~」に沿った盛りだくさんな内容でした。



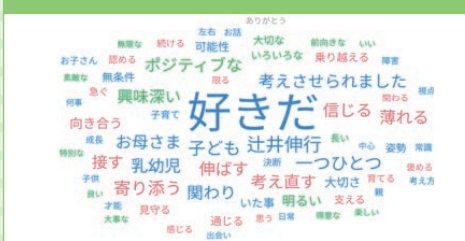
閉会式では谷口実行委員長が「親バカとはこのまちの子どもたちを愛情たっぷりに心から愛し、子どもたちの成長や、個性を肯定的にとらえられる大人たち」と表現し大会を締めくくりました。

ロビーで同時開催されたバザーでは、中学生と地元企業が開発したお菓子や、子どもたちがパッケージデザインしたお米が完売し、ほめ写の展示・投票も実施され、会長賞などの発表がありました。

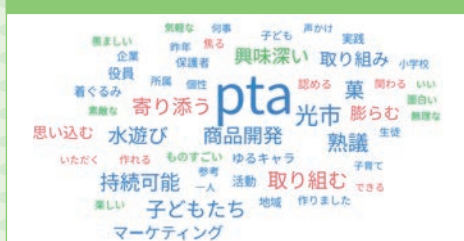
本研修大会の実行にあたり、ご協力いただきました関係団体の皆様、各市町小・中学校PTA連合会の皆様にも多大なるご支援とご協力を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

大会アンケート回答

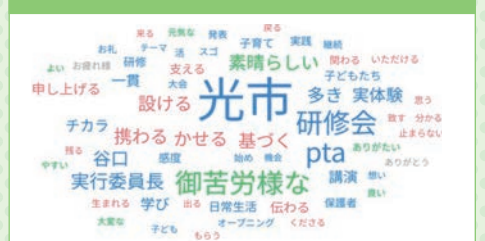
辻井さんの講演で印象に残ったこと



所属単Pで実施してみたい取組み



ご要望や感想など



ご回答いただいたアンケートの文章中でよく使われる単語を大きく表示し、頻度や特徴を直感的に把握できる「ワードクラウド」で表現しました。キーワードや傾向を視覚的に表しています。

今年度総務委員会では、急激な食材の高騰は、「児童生徒の心身の健全な発達、食育の推進」を目指す学校給食にとって重大な課題と考え、また、各市町で積極的に行われている地産地消の取組みについて、山口県と山口県教育委員会に要望し、意見交換を行いました。



要望内容

- 1、学校給食の食材の高騰に対し、給食の質を維持するための支援対策
- 2、学校給食における県産食材の利用への支援対策

主食であるお米またはパン、その他給食に関する食材の高騰に対する支援・対策、食材高騰による質や量の低下が無いよう支援・対策を要望する。

意見交換における山口県・山口県教育委員会の回答要旨

- 学校給食費の負担軽減については、県立学校に対しては山口県教育委員会が、市町立学校に対しては市町教育委員会が、国の交付金等を活用した物価高騰への補助事業を行っているところである。
なお、現在、学校給食費の負担軽減について国が制度設計を行っているところなので、国の動きを注視していきたい。
- 学校給食における県産食材の利用については、山口県では、地産地消の拡大に向け、JAと連携し、学校給食における県産米を含めた県産食材利用に対する支援をしている。
なお、山口県の学校給食における地場産食材使用率は全国1位であり、今後も取り組んでいきたい。

家庭教育委員会では11月9日(日)に令和7年度「子育て親育て研修会」として、山口市宮野地域交流センターにて17名の参加者を迎え、親子料理教室を開催しました。

本研修会では、山口県立大学の園田純子准教授を講師に迎え、卵と鶏肉を使った調理実習を実施しました。当日は大学院生も運営補助として参加し、親子に寄り添いながら調理のサポートや声かけを行うなど、世代を超えた温かな交流の場となりました。

日常生活はもちろん、災害時にも役立つポリ袋調理に親子で挑戦し、協力して料理を完成させる中で、食の大切さや防災への意識を高める機会となり、参加者からは「家庭でも実践したい」「学生との交流が良かった」といった声も寄せられ、学びと笑顔あふれる研修会となりました。



○応募方法

- ・山口県PTA連合会所属のPTAは自由に応募できます。
- ・令和7年度中に発行された広報紙が対象です。
※Webに掲載されたものも対象ですが印刷して提出してください。SNSのみに掲載されたものは対象外。
- ・提出期限：令和8年3月31日(火) 17時必着
- ・提出・お問い合わせ先：山口県PTA連合会事務局
〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館内
Tel083-925-6778
※応募作品の返却はいたしません。

○審査方法

- ・審査委員会(各界広報関係者・県教育委員会・県小中学校校長会・県P連代表委員 他)を設置し、一次・二次審査により受賞校を決定。
- ・日本PTA全国協議会広報紙コンクールの審査基準に基づき審査を実施します。

○表彰

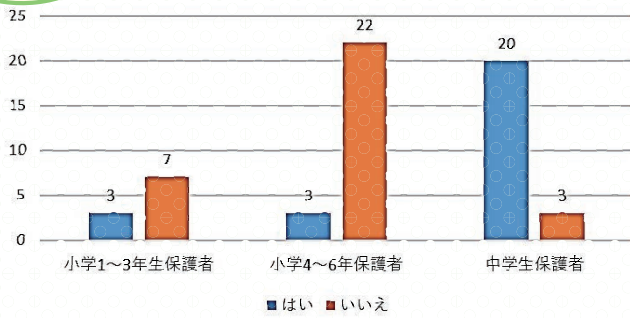
- ・賞の種類：知事賞、県教育長賞、県P連会長賞 他
- ・表彰式：令和8年5月中旬を予定
※各賞決定後受賞校PTAに通知します。
※受賞作品から選抜し日本PTA広報紙コンクールに推薦します

おやごころ128号 アンケート結果

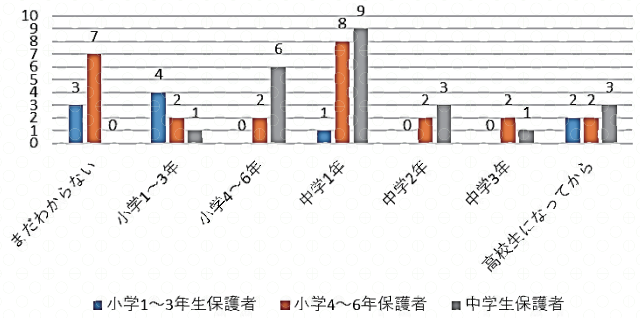
「みんなどうしているんだろう?」「ウチだけかな?」広報委員会で話し合いをする中で出てきた悩みや疑問をアンケートにしました。
58名の保護者と12名の教職員の方にご回答をいただきました。

保護者アンケート

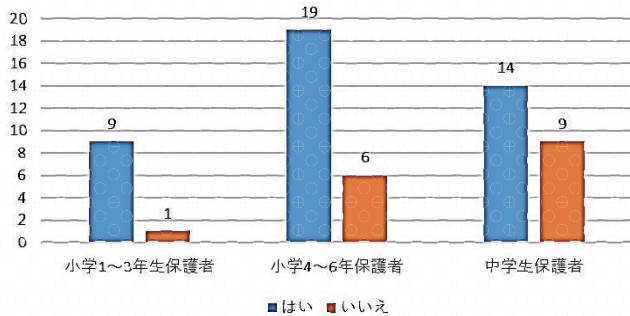
子どもにスマホを与えていますか



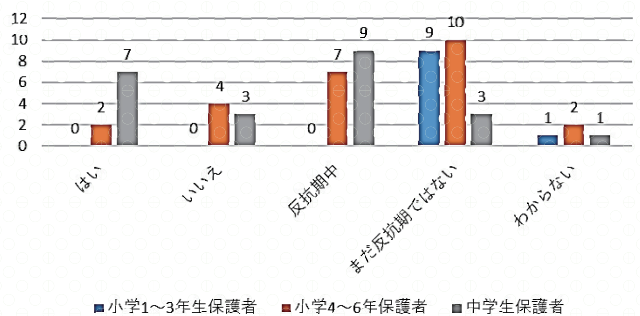
いつ頃スマホを与えましたか(与えますか)



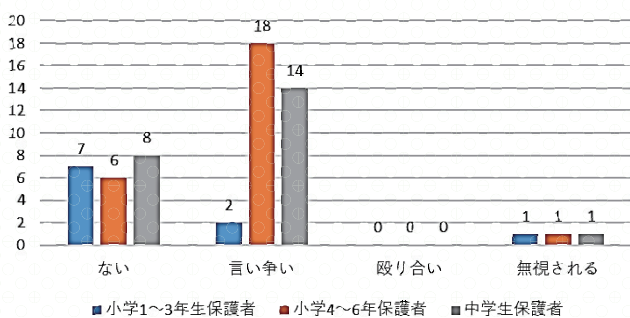
子どもの夢を知っていますか



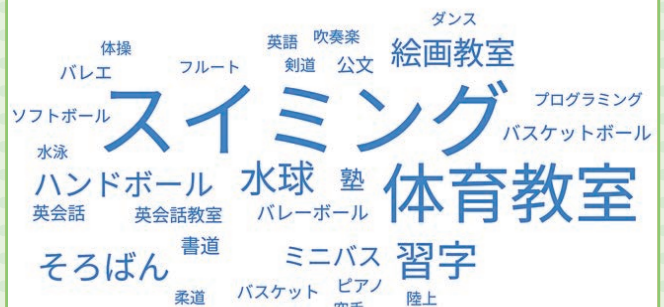
子どもに反抗期はありましたか



親子喧嘩をしたことがありますか



子どもにどんな習い事をさせていますか



教職員アンケート

教職員としてやりがいを感じる時

- こどもたちの笑顔を見れた時
- 子どもの目がキラキラしてるのが見えたとき
- 子どもたちの成長を感じる時
- 子どもの成長を感じたとき
- 子どもががんばっているのを見たとき
- 子どもを支えていることにやりがいを感じる
- 子どもの成長を感じたとき
- 子どもの成長を保護者とともに喜ぶとき
- 児童、保護者、地域、教職員の満足度が高いとき
- 子どもたちが達成感を感じている姿を見た時
- 感謝をされた時
- 子ども達が自分の思いを表現したり、良い方向に変化、成長したとき
- 子どもたちの成長が姿として見られたとき

教職員が「やりがい」を感じる瞬間

【自由記述回答の分析結果】

【全体像】

分析から、教職員がやりがいを感じる瞬間は、業務内容や評価制度そのものではなく、「子どもの変化・成長を実感できたとき」に強く結びついていることが明らかになりました。

【まとめ】

「自分」や「業務」よりも「子ども」「成長」などが中心語になっており、教職員のやりがいは子ども・保護者との関係性の中で生まれていると考えます。

子どもたちの小さな変化について気づき、成長と一緒に喜ぶことが教職員という仕事の大きな価値であることが確認できました。また、教職員の方々が子どもたちの事をとても大切に考えておられることをありがたく感じました。われわれ保護者も子どもたちの成長のために先生方と協力していきたいと思えます。

今回のアンケートを分析した結果を山口県PTA連合会のホームページに掲載しています。
統計学的には回答数が足りていませんが、皆さまのご家庭でのコミュニケーションを見直すきっかけになれば幸いです。



おやごころ128号アンケートへのご協力ありがとうございました。抽選を希望された方の中から10名様
にQUOカードを送付しました。引き続きアンケートにご協力ください。

